

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年9月15日
【四半期会計期間】	第89期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	バンドー化学株式会社
【英訳名】	Bando Chemical Industries, Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷 和義
【本店の所在の場所】	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
【電話番号】	(078)304-2920
【事務連絡者氏名】	執行役員 財務部長 大嶋 義孝
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
【電話番号】	(078)304-2920
【事務連絡者氏名】	執行役員 財務部長 大嶋 義孝
【縦覧に供する場所】	バンドー化学株式会社 東京支店 （東京都港区芝4丁目1番23号（三田NNビル内）） バンドー化学株式会社 名古屋支店 （名古屋市中村区名駅3丁目25番3号（大橋ビルディング内）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月10日に提出いたしました第89期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）の四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

セグメント情報等

セグメント情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

訂正前

(前略)

[伝動事業]

自動車用伝動製品：自動車用伝動製品は、震災による国内自動車メーカーの生産減の影響を受け、当社グループの主力製品であるリブエースなどをはじめとする補機駆動用ベルトやオートテンショナ、一方向クラッチ内蔵プリー（バンドー・スムーズ・カップラー）などの補機駆動用のシステム製品の販売が、前年同期に比べ減少しました。

一般産業用伝動ベルト製品：一般産業用伝動ベルトは、震災復興のためのメンテナンス需要などが拡大し、前年同期に比べ販売が拡大いたしました。また、射出成型機や半導体製造装置などの需要拡大により、ゴムシンクロベルトおよびプリーが前年同期に比べ増加いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は129億1千2百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は21億6千2百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

[マルチメディアパーツ事業]

マルチメディアパーツ関連製品は、主力生産工場である足利工場が被災したことと併せ、顧客である電子出力機器メーカーの生産が大きく落ち込み、クリーニングブレード、高機能ローラー、精密ベルトの販売が前年同期に比べ減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は23億4千8百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益は3億1千4百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

[産業資材事業]

運搬ベルト製品は、コンベヤベルトの販売が前年同期に比べ増加いたしました。一方で原材料価格の高騰の影響を受け販売原価も増加いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は40億9千4百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント損失は3億7千9百万円（前年同期はセグメント利益2億3千4百万円）となりました。

(後略)

訂正後

(前略)

[伝動事業]

自動車用伝動製品：自動車用伝動製品は、震災による国内自動車メーカーの生産減の影響を受け、当社グループの主力製品であるリブエースなどをはじめとする補機駆動用ベルトやオートテンショナ、一方向クラッチ内蔵プーリ（バンドー・スムーズ・カップラー）などの補機駆動用のシステム製品の販売が、前年同期に比べ減少しました。

一般産業用伝動ベルト製品：一般産業用伝動ベルトは、震災復興のためのメンテナンス需要などが拡大し、前年同期に比べ販売が拡大いたしました。また、射出成型機や半導体製造装置などの需要拡大により、ゴムシンクロベルトおよびプーリが前年同期に比べ増加いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は129億1千2百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は16億9千5百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

[マルチメディアパーツ事業]

マルチメディアパーツ関連製品は、主力生産工場である足利工場が被災したことと併せ、顧客である電子出力機器メーカーの生産が大きく落ち込み、クリーニングブレード、高機能ローラー、精密ベルトの販売が前年同期に比べ減少いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は23億4千8百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益は2億1千8百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

[産業資材事業]

運搬ベルト製品は、コンベヤベルトの販売が前年同期に比べ増加いたしました。一方で原材料価格の高騰の影響を受け販売原価も増加いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は40億9千4百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は1億8千2百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

(後略)

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

訂正前

(前略)

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	伝動事業	マルチメディアパーツ事業	産業資材事業	化成品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,881	2,348	4,093	1,244	20,567	356	20,923
セグメント間の内部売上高または振替高	30	-	0	0	32	54	86
計	12,912	2,348	4,094	1,245	20,599	410	21,010
セグメント利益又は損失(△)	2,162	314	379	142	2,239	27	2,267

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として新規事業であります。

(後略)

訂正後

(前略)

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	伝動事業	マルチメディアパーツ事業	産業資材事業	化成品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,881	2,348	4,093	1,244	20,567	356	20,923
セグメント間の内部売上高または振替高	30	-	0	0	32	54	86
計	12,912	2,348	4,094	1,245	20,599	410	21,010
セグメント利益	1,695	218	182	142	2,239	27	2,267

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として新規事業であります。

(後略)